

第2回 東名ジャンクション 上部空間等検討ワークショップ

議事のまとめ

日時：平成26年9月27日(土)

午前9時～午後0時00分

場所：喜多見小学校 体育館

出席(住民等): 28名

(オブザーバー)

国土交通省・ネクスコ東日本

ネクスコ中日本・東京都

開会

1. 前回のふりかえり・説明

・配布資料に基づき、第1回のまとめ、上部空間等利用にあたっての前提条件、東名高速道路高架下空間付近の環境アセスメントの概要について区から説明。
質疑応答

・平成19年に東京都において環境アセスメントの意見を述べてきた。この環境アセスメントは、平成32年に東名高速道路以北が完成し、平成42年に東名高速道路以南が完成することを前提にしているが、現在は東名高速道路以南について平成42年に完成するとは言われていない状況である。また、浮遊粒子状物質については、現在問題になっているPM2.5ではなく、粒径の大きいPM10が対象となっている。二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関しては、その辺りを勉強して次回再度説明してほしい。

(区) ご指摘の点については、宿題にさせていただきたい。

・上部空間等利用にあたっての前提条件に関して、「道路占用許可が可能なもの(法令より抜粋)」とは何の条例の何条か。

(区) 道路法の第32条である。

・環境アセスメントの資料については、東京都のホームページなどで閲覧が可能なのか。

(区) ホームページでの閲覧は行われていないが、東京都や世田谷区において閲覧可能である。

・環境影響評価書、平成19年3月とあるが、これはアンダーパスに変更してからのものなのか。アンダーパスに変更になったことにより、環境影響評価も変わったのではないかと思い、変更後の環境影響評価を教えてくださいと要望した。

(区) 前回の質問意図を十分に理解していなかった。後ほど確認し報告する。

(区) アンダーパスへ変更後には環境アセスメントを実施していないことを確認できたので報告する。なお、事業の進捗に合わせて事後調査を実施するとの

ことである。

2 . 上部空間等検討にあたって

- ・配布資料に基づき、魅力あふれる上部空間の実現のためのまちづくり計画の重要な枠組みに関して、稲垣先生から検討の視点を紹介。

3 . ワークショップ：上部空間等利用の方向性を考えましょう

上部空間等をどのような場所にしていきたいですか

その場所には、どのような機能が必要ですか

その機能は、どの箇所に配置しますか

各班の検討結果の発表

- ・4つの作業について、内容と進め方を区（コンサルタント）から説明。
- ・ワークショップでの検討結果については別紙参照。

4 . 皆さんが共感する機能の配置について（シール投票）

- ・各班からの検討結果発表の後、参加者が自分以外の班で共感できる機能の配置について、シールを5枚貼り、全体の傾向を確認。

5 . 各機能の配置図のイメージのまとめ・講評

- ・各班での検討結果及びシール投票の結果を受け、区（コンサルタント）より各班で共通している箇所や異なる箇所、共感が得られた箇所などを確認し、全体で配置図のイメージを共有。
- ・稲垣先生から本日の検討内容等に関する講評。

以上

『第2回 感想・意見シート』に寄せられたご意見等

- ・上部空間等利用の前提条件について配布されたのは、前提ありきで問題がある。
- ・事前検討のため、次回案内時に今回のまとめをあわせて送付してほしい。
- ・ランドスケープ（造園学）の専門家や、建築の専門家を呼んでほしい。